

新規事業箇所調書

		調書作成年月日		平成23年 2月 7日																				
		事業担当課		道路課																				
事業名	<small>おおしまかきょう</small> 大島架橋事業	補助・単独の別	補助	事業主体	宮城県																			
施行地名	<small>おおしまなみいた</small> 一般県道大島浪板線 <small>けせんぬま</small> 気仙沼市 <small>こごしお</small> 小々汐地内 <small>いそくさ</small> 磯草地内			管理主体	宮城県																			
根拠法令	道路法第56条, 離島振興法第7条, 第14条																							
事業概要	事業目的	<p>本事業は、県北東部の気仙沼市とその内湾に位置する大島とを結ぶ橋梁整備を含む2車線の道路改良事業である。大島は、東西3km, 南北9km, 総面積約9.0km²の人口約3,300人(平成22年8月末現在)を擁する県内最大規模の離島であり、本土と至近距離(約300m)にあるにもかかわらず、本土との間に橋がないため、交通機関は船舶のみとなっており、大島地区住民は様々な不便や不安を抱えている。このため、地区住民の日常生活における利便性や常時通行の確保、救急医療や災害時の緊急輸送路などの安全や安心を確保するため、さらに、当該圏域の観光や産業経済の振興、地域間交流を図ることを目的とし、道路整備を行うものである。</p>																						
	事業内容	<p>延長 L=2,960m, 3種3級 W=6.0(9.5~10.0)m 設計速度 50km/h</p>																						
	事業費	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th rowspan="2">全体事業費</th> <th colspan="4">費用負担内訳</th> </tr> <tr> <th>国</th> <th>県</th> <th>市町村</th> <th>その他 ()</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">内用地費</td> <td style="text-align: center;">[2/3]</td> <td style="text-align: center;">[1/3]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> <td style="text-align: center;">[]</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">141.6億円</td> <td style="text-align: center;">5.1億円</td> <td style="text-align: center;">94.4億円</td> <td style="text-align: center;">47.2億円</td> <td style="text-align: center;">0億円</td> </tr> </table>				全体事業費	費用負担内訳				国	県	市町村	その他 ()	内用地費	[2/3]	[1/3]	[]	[]	141.6億円	5.1億円	94.4億円	47.2億円	0億円
	全体事業費	費用負担内訳																						
国		県	市町村	その他 ()																				
内用地費	[2/3]	[1/3]	[]	[]																				
141.6億円	5.1億円	94.4億円	47.2億円	0億円																				
事業期間	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>事業期間</td> <td colspan="3">平成23年度~平成30年度(8年間)</td> </tr> <tr> <td>用地買収着手予定年度</td> <td>平成24年度</td> <td>工事着手予定年度</td> <td>平成24年度</td> </tr> </table>				事業期間	平成23年度~平成30年度(8年間)			用地買収着手予定年度	平成24年度	工事着手予定年度	平成24年度												
事業期間	平成23年度~平成30年度(8年間)																							
用地買収着手予定年度	平成24年度	工事着手予定年度	平成24年度																					
施設管理の予定	<p>完成後の施設管理主体は宮城県となるが、平成13年度から全県的に推進しているアドプト制度「みやぎスマイルロード・プログラム」の活用等により、官民一体となった管理体制の実現を図っていきたい。</p>																							

事業の必要性	上位計画等	<ul style="list-style-type: none"> ・土木行政推進計画（平成13年策定，平成22年3月部分改訂） ・宮城県離島振興計画（平成15年5月策定）
	事業を巡る社会経済情勢等	<p>○社会経済情勢</p> <p>気仙沼市大島は，現在，約3,300人が住み，漁業を主産業とする東北最大の離島である。大島と本土は最も近接する地点で約300mであるにも関わらず，交通手段は船舶のみに限定されている。これによって，住民の日常生活はもとより，医療サービスや災害時の復旧支援等において，県民が本来享受すべき最低限の公共サービス（シビルミニマム）が確保されていない状況にある。</p> <p>○地元情勢，地元の意見</p> <p>緊急医療をはじめ地震，津波など災害時における大島地区住民の安全の確保と日常生活の利便性の向上，気仙沼・本吉地区の産業経済の振興を図る観点からも，早期整備が切望されている。</p> <p>「大島架橋の整備促進に関する要望」気仙沼大島架橋促進期成同盟会 平成22年3月18日</p>
事業の有効性	事業効果	<p>○想定される事業効果</p> <p>大島地区住民の移動制約の排除・費用負担の低減や救命率の向上・地域医療の支援，観光集客の増大・観光消費による経済波及効果，物価価格差の是正・物流コストの低減が想定される。</p>
事業の効率性	関連事業の概要・進捗状況等	<p>本工区西側で実施している一般県道大島波板線小々汐区は大島架橋事業への取付部分であり，平成21年に着手し，平成22年度末進捗率は約7%である。</p>
	代替案との比較検討	<p>複数案の架橋位置やルートと比較を行い，経済性や施工性，支障物件などを考慮し現在の案とした。</p>
	コスト削減計画	<ul style="list-style-type: none"> ・島内の主要構造物のうち，山岳トンネル3カ所を開削トンネルにし，橋梁を2カ所ボックスカルバートにすることで，約4.6億円を削減した。 ・島内での発生土処理を行うことにより，約1.8億円削減した。 <p>上記，コスト削減案のほか，今後実施する詳細設計などを通して，宮城県沖地震などの大規模災害への対応も含め，将来にわたり使い続けることができる橋梁構造について，コスト削減の観点を重視しながら検討していく。</p>

事業の効率性	費用対効果									
	根拠マニュアル：費用便益分析マニュアル 国土交通省 道路局 都市・地域整備局 (平成20年版)									
	社会的割引率： 4% 便益算定期間： 50年 基準年：平成22年									
	費用項目	建設費	135億円							
		維持管理費	10億円							
	目	総費用	145億円							
		現在価値(C)	113億円							
	便益項目	走行時間短縮便益	506億円							
		走行費用減少便益	23億円							
		事故減少便益	0億円							
総便益		529億円								
現在価値(B)		188億円								
費用便益比(B/C)		1.66								
環境への影響と対策	地域指定状況等									
	本土と大島の海峡部及び島内北側沿岸部は、陸中海岸国立公園の特別地域及び県立自然公園気仙沼に指定されている。									
総合評価	事業箇所評価結果									
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評点による順位</th> <th>予算化された箇所数</th> <th>評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路建設事業(県道)(新規事業箇所)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1位/2</td> <td>2箇所</td> <td>_____</td> </tr> </tbody> </table>	評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)	道路建設事業(県道)(新規事業箇所)			1位/2	2箇所	_____
評点による順位	予算化された箇所数	評価結果と予算への反映状況が異なる場合の理由 (低順位にもかかわらず予算化された理由)								
道路建設事業(県道)(新規事業箇所)										
1位/2	2箇所	_____								
総合評価	対応方針									
	事業実施									

(参考資料)

事業概要図



